

高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会 情報共有ワーキング部会 令和6年度の実施状況及び令和7年度実施計画（案）

1 目的

日常の療養、急変時、入退院時、看取りの4場面及び災害時における連携ルールや手順等の理解を深め、医療・介護・障がい関係者等の情報共有を推進する。

2 活動方針

- (1) 高岡多職種ネットの普及啓発を図り、システム利用者間で情報共有・連携を行うことで、より対象者の状態に応じた医療・介護・障がい福祉サービスを提供する。
- (2) ICTによる業務効率化により、医療・介護・障がい等従事者の負担軽減を図る。
- (3) 入退院時（病院から在宅、在宅から病院への引継ぎ）等、医療・介護・障がい関係者の連携がより円滑となるよう、連携のためのルールや情報共有の手順等に係る手引きを策定する。

3 指標

	指標	評価結果
1	高岡多職種ネット登録施設数、利用者数、患者登録数	下記※ ¹ 参照
2	高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者数	R6年度 100名
3	高岡多職種ネットを活用することで多職種連携が効果的に図れていると思う人の割合（「在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査」における質問「多職種ネットを活用することで、多職種連携が効果的に図れていると思うか。」に、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人の割合）	R6年度 92%
4	研修会に参加して理解が深まったと思う多職種の人の割合（「高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者アンケート」における質問「研修会に参加して理解が深まりましたか。」に、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人の割合）	R6年度 89%
5	多職種共通の情報共有ツール導入後の多職種の人の満足度	R7年度以降

※ ¹	登録施設数	利用者数	患者登録数
R6年度当初	180施設	800人	417件
R7.2.5現在	260施設	1,109人	599件

4 会議の報告

	日時	会場	協議事項
第1回	6月27日 (木) 13時～14時 10分	高岡市役所 801会議室	(1) 活動計画及び評価指標案の検討（上記のとおり） (2) 高岡多職種ネットの普及啓発及び活用方法について ・登録患者及びシステム利用者の実際の活用状況について把握する必要がある。 ・令和6年7月より、災害時の情報提供の部屋を開設。 ・高岡多職種ネットは、ZOOM機能を活用したカンファレンスが可能であることについて、周知が必要。 (3) 各分野での情報共有の課題について意見交換 ・複数の関係機関が関わる場合、情報共有に多くの時間を有す

			ることがある。 ・在宅患者の急変時の対応や休日に退院された場合のケアマネジャーの情報共有が難しい。						
第2回	10月10日 (木) 13時～14時	高岡市役所 802 会議室	(1)「在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査」結果報告 (2)アンケート結果における課題解決に向けた協議、取り組み内容の検討 ・今年度は高岡多職種ネットの普及に向け重点的に取り組むこととし、登録施設数及び利用者数の増加を図るほか、活用しやすい機能の周知を行う。 ・高岡多職種ネットに歯科診療所、介護保険サービス事業所、障がい福祉サービス事業所の登録が少ないこと、またその理由として、申請手続きや活用例がわからないことが挙げられた。第2回研修会において、多職種ネットの活用事例紹介及び申請手続きの流れ等説明し、普及啓発を行う。						
第3回	12月12日 (木) 13時～14時	高岡市役所 803 会議室	(1)高岡多職種ネット 連絡帳機能の活用について ・少しでも気軽に利用者がコメントできるよう、以下利用者ルールを設定し、掲示板上で通知する（ルールは強制するものではない） <table border="1"><tr><td>1</td><td>コメント確認後（既読後）は、「リアクション機能」で反応しましょう。</td></tr><tr><td>2</td><td>所属や名前の記載は省略しましょう。</td></tr><tr><td>3</td><td>時候の挨拶は省略しましょう。</td></tr></table> (2)多職種共通の情報共有ツールの作成について ・はこだて医療・介護連携サマリー内容を参考に、地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所が活用中の「入院時情報提供書」に、障がい分野や口腔ケアの項目等不足情報を追加した情報共有ツールを作成する（令和7年度） (3)令和7年度計画について（以下計画（案）のとおり）	1	コメント確認後（既読後）は、「リアクション機能」で反応しましょう。	2	所属や名前の記載は省略しましょう。	3	時候の挨拶は省略しましょう。
1	コメント確認後（既読後）は、「リアクション機能」で反応しましょう。								
2	所属や名前の記載は省略しましょう。								
3	時候の挨拶は省略しましょう。								

5 令和7年度会議開催計画（案）

	日 時	協議事項
第1回	6月	(1)活動計画の検討 (2)多職種共通の情報共有ツールの内容検討 (3)課題解決に向けた協議、取り組み内容の検討
第2回	10月	(1)多職種共通の情報共有ツールの内容検討 (1)課題解決に向けた協議、取り組み内容の検討
第3回	12月	(1)指標の評価 (2)次年度の計画の方向性の検討

※いずれも水曜日もしくは金曜日、13時～14時で開催予定